

平成 18 年 度

事 業 報 告 書

1.法人運営事業

1.理事会（4回）

- 1.平成18年5月23日（火）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・専決処分の報告について
 - ・平成17年度事業報告の認定について
 - ・平成17年度決算の認定について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚市地域包括支援センターゆりのき（介護予防支援）運営規程の制定について
 - ・平塚市社会福祉協議会評議員選任の同意について
 - ・平塚市社会福祉協議会各種委員会委員選任の同意について

- 2.平成18年9月22日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・副会長の選任について
 - ・平成18年度一般会計9月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚栗原ホーム指定障害福祉サービス事業所運営規程の制定について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚栗原ホーム指定相談支援事業所運営規程の制定について
 - ・平塚市社会福祉協議会顕彰者の選考について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について

- 3.平成18年12月8日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成18年度一般会計12月補正予算について

- 4.平成19年3月16日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成18年度一般会計3月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会旅費支給規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚市地域包括支援センターゆりのき（介護予防支援）運営規程の一部を改正する規程について
 - ・平成19年度事業計画案について
 - ・平成19年度一般会計当初予算案について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について

2. 正副会長会議（0回）

重要議題が無いため、開催せず

3. 監事会（1回）

平成18年5月16日（火）・・・福祉会館 第3会議室

- ・平成17年度事業報告の監査
- ・平成17年度決算書類の監査

4. 評議員会（4回）

1. 平成18年5月30日（火）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成17年度事業報告の認定について
- ・平成17年度決算の認定について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚市地域包括支援センターゆりのき（介護予防支援）運営規程の制定について
- ・平塚市社会福祉協議会理事選任の同意について

2. 平成18年9月29日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成18年度一般会計9月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚栗原ホーム指定障害福祉サービス事業所運営規程の制定について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚栗原ホーム指定相談支援事業所運営規程の制定について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

3. 平成18年12月19日（火）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成18年度一般会計12月補正予算について

4. 平成19年3月23日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成18年度一般会計3月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会旅費支給規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会平塚市地域包括支援センターゆりのき（介護予防支援）運営規程の一部を改正する規程について
- ・平成19年度事業計画案について
- ・平成19年度一般会計当初予算案について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会監事の選任について

5. 計画策定・進行及び各種委員会

各種委員会を次のとおり開催した。

1. 総合企画委員会（委員 11人）

平成18年7月21日（金） 通算第29回

- ・広報委員会報告
- ・指定管理者制度および地域包括支援センターが開始されて（経過報告）

2. 広報委員会（委員 10人）

- ・第95号「福祉だよりひらつか」の発行について
開催日 5月25日、6月6日
- ・第96号「福祉だよりひらつか」の発行について
開催日 8月29日、9月25日
- ・第97号「福祉だよりひらつか」の発行について
開催日 1月18日、2月7日

3. イベント実行委員会（委員 11人）

開催日 7月21日、10月12日、12月1日

4. 法人化30周年記念誌の配付

『平塚市社会福祉協議会のあゆみ』500冊作成

市社協役員、評議員、歴代役員、団体会員、関係機関等に配付した。

6. 研修事業

1. 視察受入れ

国分寺市社会福祉協議会 平成19年2月5日（月） 出席者 役員等25人

- ・平塚市社会福祉協議会の概要について
- ・地区社会福祉協議会への支援
- ・地区賛助会費加入制度
- ・広報啓発活動
- ・情報交換

2. 実習受入れ

(1) 社会福祉援助技術実習

- | | | | |
|---------|----------|------------|----------|
| ・東京福祉大学 | 3人（12日間） | ・聖徳大学 | 1人（12日間） |
| ・東海大学 | 2人（12日間） | ・神奈川福祉専門学校 | 2人（10日間） |

(2) その他（福祉事務所実習）

- | | | | |
|-------|---------|--------|---------|
| ・東海大学 | 2人（1日間） | ・厚生労働省 | 1人（2日間） |
|-------|---------|--------|---------|

7. 後援・協賛事業

1. 次の事業に、後援・協賛した。 51件

1	ユースボランティア2006	27	神奈川県社会福祉大会
2	第27回ともしびポスター・第20回ともしび絵本コンテスト	28	2006ベストヘアコンテストユーナフェスティバル
3	第11回舞踊愛好会チャリティ大会	29	第35回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会
4	創作音楽劇『亀の不思議なおくりもの』	30	生命のメッセージin湘南平塚
5	フォト四季10周年記念写真展	31	平塚・大磯・二宮地区里親講座
6	第14回 なつやすみユニセフ子どものつどい	32	地域活動入門フォーラム
7	第9回神奈川電動車椅子サッカー大会	33	『ハートメッセージ2006in茅ヶ崎』
8	宮脇 昭 先生講演会	34	第1回チャリティひまわりカラオケ大会
9	心のまち、福祉のまち、教育のまち平塚 ～秋山博先生を讃えて～	35	レッツトーク レッツシング
10	平成18年度赤十字社員増強運動	36	第10回ドリーム・カップ(記念大会)
11	高齢者円滑入居・賃貸住宅貸主・不動産店向け研修会	37	第36回ゆめクラブ湘南平塚趣味の作品展
12	ゆめかながわスポーツ健康 シニアフェスタ2006	38	第30回ゆめクラブ湘南平塚のつどい
13	障害児者の作品展	39	神奈川大学 第11回交流祭
14	友情列車『ひまわり号』	40	ともしび運動30周年記念事業『子育て支援講座』
15	平塚市浅間祭	41	講演会 第5回『どう生きる100歳時代』
16	水森亜土チャリティコンサート	42	大門三郎 第19回チャリティコンサート
17	ユニセフ写真展	43	ミュゼ主催 第9回チャリティコンサート
18	24時間テレビ平塚地区 第20回街頭募金	44	内閣総理大臣杯争奪第36回日本車椅子バスケットボール 選手権大会関東地区予選会
19	第42回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	45	『湘南ひらつかマジシャンズ』マジック発表会
20	カナガワ・デフ・ウェイ2006	46	新日本プロレス平塚市社会福祉チャリティ
21	第51回神奈川県身体障害者福祉大会	47	福祉芸能の集い第15回チャリティ公演
22	第11回福祉芸能チャリティ公演	48	K・J・D・Sチャリティダンスコンサート Vol.23
23	第11回湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティ公演	49	YES,愛,DO!音楽祭
24	講演会(平塚市手をつなぐ育成会)	50	第22回平塚愛唱会
25	成年後見基礎講座	51	身体障がい者・日本国とネパール王国との国際交流セミナー 特別ミッション(使節団)
26	成年後見基礎講座		

8. 事故発生報告 合計 35件

1. 提供サービスにおけるもの	29件
子育て支援センター関係	1件
・忘れ物の紛失	1件
老人福祉センター関係	14件
・センター内での救急車要請	2件
・センター内での利用者体調不良	1件
・風呂場での転倒事故	1件
・利用者同士の喧嘩トラブル	2件
・消防署へのイタズラ電話	1件
・不審者トイレ立て籠もり	1件
・機械警備の誤作動	6件

栗原ホーム関係	14件(うち救急車要請1件)	
・訪問先で利用者が亡くなっていた		1件
・訪問先の利用者が体調不良等		3件
・訪問先での器物破損等		6件
・通所介護活動中利用者の体調不良		3件
・通所介護活動中利用者の帰宅		1件

2.業務にかかわるもの	6件	
・通所介護活動中の職員の怪我		1件
・訪問介護活動中の職員の怪我		3件
・倉庫高所からの職員の転落事故		1件
・通勤中の負傷		1件

9.情報公開 申請件数1件 公開件数1件

平成17年度介護保険事業者(平塚栗原ホーム)事故報告書
個人情報を除き一部公開した。

10.苦情処理 合計 30件

総務企画グループ関係	2件	
・「福祉だより」包括支援センターの電話・FAX番号の間違い		1件
・「福祉を考えるつどい」の手話通訳者は、資格者を選任して欲しい		1件
福祉サービス利用支援グループ関係	3件	
・同居高齢者と独居高齢者のサービスや制度差について		2件
・通知文におけるFAX番号の間違いの指摘		1件
施設管理グループ関係	14件	
・会議室使用申し込みについて		2件
・施設利用者の怪我による保険金について		1件
・高齢者教養講座の抽選内容等について		1件
・利用者同士のトラブルについて		4件
・利用者に対する職員の対応について		2件
・ロッカーキー持ち帰りによるトラブル		1件
・南部福祉会館の利用時間等について		2件
・白寿荘の清掃等について		1件
栗原ホームグループ関係	7件	
・ケアマネジャーの対応の不満		1件
・通所介護送迎の利用者間違い		1件
・訪問介護の利用者からヘルパーの対応について		4件
・訪問介護の利用者からヘルパーの未派遣		1件
その他	4件	
・社協宛ての間違いFAXが届くこと		1件
・職員の電話対応に関すること		3件

2. 広報啓発事業

1. 福祉だよりひらつか発行

市民に社協事業を始め地区社協、ボランティア、福祉施設、福祉団体等の活動状況を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を年3回発行した。

	発行日	発行部数
第95号	7月 1日	84,000部
第96号	11月 1日	84,000部
第97号	3月 1日	84,000部

2. 啓発宣伝事業

1. 福祉イベントの開催

平塚市社会福祉協議会がめざす『誰でも可能な限り、住み慣れた地域で、家庭生活が安心して営めるようにする』基本理念をメインテーマとして、「社会福祉法」で明確化された『地域における社会福祉の推進を図る』ことを目的に開催する。具体的には、総合公園にて「福祉フェスティバル」を実施した。また、福祉会館及び中央公民館にて「福祉まつり」を開催し、福祉に対する理解と、参加意識の高揚を図り、さらに、多くの市民に社会福祉協議会の事業や役割を広く周知することを目的に実施した。

(1) 福祉フェスティバル(ともしび運動推進事業) 918,137円

市民一人ひとりに福祉の心が根つき「ともに生きる」福祉のまちづくりが広がるように市主催の健康フェスティバルと同時開催した。

共催 第30回心身障害児者レクリエーション大会

開催日 10月29日(日)

会場 平塚市総合公園内平塚のはらっぱ

参加者 約14,000人

内容

- ・ミニ運動会
- ・手作りゾーン(老人クラブ連合会による竹細工・わら細工等、地域作業所連絡会他による口ウソク作り等、地域作業所自主製品販売)
- ・ふれあいゾーン(子育て支援コーナー、母子福祉なでしこ会による母(父)と子の交流コーナー)
- ・ふくし学べるゾーン(ともしびコーナー、介護情報コーナー、ボランティアコーナー、福祉体験コーナー、地域福祉コーナー)
- ・とくとくゾーン(福祉バザーの実施)
- ・健康いきいき体操(老人クラブ連合会・女性部)
- ・抽選会

(2) 福祉まつり

1,453,520円

福祉情報の提供・啓発、ノーマライゼーションの普及、福祉施設の紹介・地域作業所自主事業製品の販路拡大、世代や親子・障害の有無にもかかわらない交流、生きがいの場の提供、社協の活動事業や役割紹介などを目的に福祉まつりを実施した。

開催日 11月16日(木)～18日(土)

会場 福祉会館、中央公民館(ギャラリー、大ホール)

参加者 5,772人(うち、社会福祉を考えるつどい241人)

内容

・社会福祉展部門
423,850円

『平塚市包括支援センターについて』をテーマに、啓発パネル等で紹介した。

また、市内社会福祉施設の紹介、作品の展示、市内地域作業所の自主製品の即売を行った(展示用パネルについては、地域の福祉まつりや公民館まつりなどに貸出した)。

・福祉会館まつり部門
300,000円

福祉会館において活動しているサークル等の作品展示、催物、囲碁将棋大会、カラオケ大会、お茶会など成果の発表及び模擬店、体験コーナー等を実施した。

展示関係	福祉会館	延べ出展人員	443人
		延べ出展数	843点
	中央公民館	延べ出展人員	87人
		延べ出展数	149点

催物関係	福祉会館	演芸出演人員	315人
		囲碁・将棋大会等延べ人員	68人
		カラオケ大会参加者人員	59人
		体験コーナー参加者延べ人数	525人

(内訳 会館 450人 中央公民館 75人)

・社会福祉を
考えるつどい部門
572,655円

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、平塚市・平塚市社会福祉協議会の共催により社会福祉関係功労者の表彰式と社会福祉の啓発を目的に講演会を18日(土)に実施した。

第1部 表彰式典

第2部 講演会

講演者 木原孝久

題名 『住民流福祉活動・虎の巻』

～銭形平次はボランティアだった～

・あそびの森
157,015円

地域のボランティアの協力のもとに、すべての人々が、世代を超えて交流する場とし、イベントを通しておしゃべりや情報交換の場として「出会い・ふれあい・学びあい」の場となるよう企画・実施した。

11月16日

- ・おもちゃで遊ぼうコーナー
- ・手作りおもちゃコーナー
- ・子育て相談コーナー
- ・スペシャルジョイフルタイム

11月17日

- ・おもちゃで遊ぼうコーナー
- ・手作りおもちゃコーナー

- ・人形劇
 - ・リトミック
- 会場 平塚市中央公民館（和室、音楽室、会議室、小ホール）
- 参加者 165世帯 510人

2. ともしび運動推進事業

(1) 障害者の日キャンペーン 139,118円

障害者に対する理解ならびにともしび運動推進30周年の啓発のため、平塚市障害者団体連合会の啓発イベントに協力し、その後街頭キャンペーンを行った。

実施日 12月9日（土）

場所 平塚駅周辺 MNビル北側 四季の広場
まちかど広場

参加者 300人（うち関係者135人）

（当事者団体、障害福祉施設、地域作業所連絡会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡会、市、市社協）

(2) ともしび運動推進30周年事業 150,000円

ともしび運動推進の30周年を記念し、広報啓発物品（名入れボールペン）を作成し、配布啓発した。ボールペン4000本

(3) 障害者IT関連事業 50,000円

福祉まつりの一環として、神奈川県社会福祉協議会の協力で、障害者に優しいIT関連の機器展示コーナーやIT関連の体験コーナーを開設した。

3. 顕彰（敬称略）

1. 社会福祉を考えるつどい2006（11月18日：中央公民館大ホール）の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 平塚市長表彰（2人）

更生援護功労者

・花崎みよこ ・國安 真二

(2) 平塚市社会福祉協議会会長表彰（36人・1団体）

地区社会福祉協議会

・香野 邦子 ・五十嵐 栄子 ・今井 一江

民生委員・児童委員

・黒石 絹枝 ・宮代 明信 ・中村 純子 ・小澤紀美子 ・平田 和子
 ・岡崎 和枝 ・佐藤 政江 ・湯川 操 ・田中シツエ ・吉田 俊子
 ・田中 三朗 ・金子 公子 ・峰尾志賀子 ・五味 芳子 ・齋藤 珪子
 ・荒 佳江 ・下山 淳子 ・青木 京子 ・沖津 孝子 ・古尾谷 勉
 ・杉山 共郎 ・一力 弘 ・水島 洋江 ・猪俣 幸司 ・小清水幹雄
 ・下田 淑子 ・上原 薫 ・三浦恵美子 ・柳川タカ子 ・山田 民子
 ・二見 薫

ボランティア

・豊嶋かほる ・長尾 久子 ・病院援助ボランティア

(3) 平塚市社会福祉協議会会長感謝 (33人・5団体)

地区社会福祉協議会

- ・熊王 静子 ・佐藤真智子 ・杉浦 静子 ・西塚ひでの ・加藤 礼子
- ・吉川 成子 ・立野町ボランティアひまわりの会 ・見附コスモスの会
- ・夏苺 敦子 ・富樫加代子 ・諸伏 賢造 ・半谷 晋一 ・木村富士子
- ・青木 宏二 ・武藤 佳子 ・成田ミチ子 ・森下 幸代 ・石塚 光江
- ・根岸 秀雄 ・川崎 芳子 ・佐藤ふさ糸 ・梶山 富子 ・小堀 鈴江
- ・田村千賀子 ・明石カナ子

ボランティア、福祉団体

- ・平井八重子 ・平識智恵子 ・小倉 宗節 ・シェルクラブ ・大津 昇
- ・齋藤 恭子 ・佐藤 勝代 ・永野美代子 ・吉川 竹子 ・鉄本 智子
- ・遠藤トモエ ・湘南鉄道研究会 ・要約筆記サークルひらつか

2. 第55回神奈川県社会福祉大会 (10月19日 : 県立音楽堂) の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 神奈川県社会福祉協議会会長表彰 (53人)

民生委員・児童委員

- ・黒石 絹枝 ・宮代 明信 ・中村 純子 ・小澤紀美子 ・平田 和子
- ・岡崎 和枝 ・佐藤 政江 ・湯川 操 ・田中シツエ ・吉田 俊子
- ・田中 三朗 ・金子 公子 ・峰尾志賀子 ・五味 芳子 ・齋藤 珪子
- ・荒 佳江 ・下山 淳子 ・青木 京子 ・沖津 孝子 ・古尾谷 勉
- ・杉山 共郎 ・一力 弘 ・水島 洋江 ・猪俣 幸司 ・小清水幹雄
- ・下田 淑子 ・上原 薫 ・三浦恵美子 ・柳川タカ子 ・山田 民子
- ・二見 薫

社会福祉施設従事者

- ・友田 幸江 ・山岸 直道 ・苺田 雅夫 ・安澤千栄子 ・須藤 洋子
- ・桐原富士雄 ・渡邊 直昭 ・日笠 君子 ・諏訪恵美子 ・稲葉 秀子
- ・大谷 一世 ・牧野由美子 ・柏木ケイ子 ・鈴木 輝子 ・進藤 隆
- ・久松富美子 ・谷津 陽子 ・三橋 秀子 ・二見 剛平 ・鷲尾 隆

ボランティア

- ・井上由美子 ・渡辺 澄江

(2) 神奈川県社会福祉協議会会長感謝 (3人)

永年勤続功労者 福祉施設従事者 (25年以上)

- ・秋本 謙一 ・指田 均 ・齋藤 洋子

(3) 神奈川県知事表彰 (2人)

社会福祉関係者等表彰 ・阿部 靖子 ・永井 博子

(4) 共同募金運動功労者表彰及び感謝 (12人・2団体)

神奈川県知事表彰

- ・小山 君子

神奈川県共同募金会会長感謝

- ・島津 正信 ・高橋 克己 ・高梨 秀吉 ・米山 晴義 ・片倉 貞雄
- ・矢後 永夫 ・茂田 孝 ・川井 達郎 ・川手十芽男 ・片山 興大
- ・小澤 八重子

共同募金60年記念神奈川県共同募金会会長表彰

- ・湘南農業協同組合 ・平塚信用金庫

(5) 中央共同募金会会長 (共同募金運動60年記念特別感謝)

- ・神奈川県共同募金会平塚市支会

3. 地域福祉推進事業

1. 会員と賛助会員

1. 会員と会費

会員区分		会員数	金額(円)
1号会員	地区社会福祉協議会	23	154,000
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	78,200
4号会員	保護司会	1	12,000
5号会員	社会福祉施設	128	358,000
	(法人)	(27)	(81,000)
	(施設)	(75)	(225,000)
	(地域作業所)	(26)	(52,000)
6号会員	当事者団体	15	45,000
7号会員	社会福祉活動団体	15	45,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	3	-
合 計		213 件	703,200

2. 賛助会員と賛助会費

2.3 地区(300円未満の協力会員を含む)

賛助会員会費	62,711件	20,457,492円
(うち、特別賛助会員会費(1口5,000円)	111件	714,000円)
地区還元額(75%)		15,343,124円

3. 企業賛助会員と会費

企業賛助会員会費(市内の企業、事業所等の会員)

1口	5,000円	100社	590,000円
----	--------	------	----------

2. 地区社協会長(地区社協部会)役員会及び連絡会議

1. 役員会

(1) 平成18年6月21日(水)

- ・監査について(監事会も兼ねる)
- ・地区社協部会事業報告・決算及び事業計画・予算について
- ・地区社協会長変更に伴う役員等の交代について
- ・地区社協会長連絡会の開催について

(2) 平成18年11月28日(火)

- ・各種イベントの報告
- ・第2回地区社協会長連絡会の開催について

(3) 平成19年3月14日(水)

- ・平成19年度地区社協関係予算について

- ・地区社協概要について（改訂版の発行に向けて）
- ・第3回地区社協会長連絡会の開催について

2. 連絡会議

(1) 平成18年6月28日(水)

- ・平成17年度地区社協部会活動について
事業報告について
決算報告について
- ・地区社協役員・市社協各種委員等の選出について
- ・平成18年度地区社協部会活動について
事業計画(案)について
予算(案)について
- ・その他
住宅用火災警報器の設置について
平塚市からのお知らせ 障害福祉課

(2) 平成18年12月13日(水)

- ・各種イベントの報告
- ・赤い羽根募金の報告
- ・年末たすけあい募金の途中経過報告
- ・悪質な訪問販売について 寸劇・講義
- ・苦情に見る地域福祉の状況について講義
- ・その他
地区社協研修会の報告について
地区社協啓発パネルについて
視察見学についてお願い
地区社協等に関する記事について

(3) 平成19年3月29日(木)

- ・平成19年度 地区社協補助金について
- ・平成19年度 地区社協概要の発行について
- ・地区社協補助金交付報告書及び申請書の提出について
- ・平塚市からのお知らせ 生活福祉課・高齢福祉課

3. 地区社協活動支援事業

1. 地区社協活動支援補助事業 12,677,000円
地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

(1) 社会福祉基金事業 6,486,385円

- ・地区社協活動推進事業(23地区) 2,330,000円
- ・ひとり暮らし高齢者給食費助成事業 3,524,345円
- ・地区ふれあい福祉相談費助成事業 632,040円

(2) 共同募金配分事業他 6,190,615円

- ・地区社協活動事業費(23地区) 2,497,615円
- ・協力者育成事業費(23地区) 1,623,000円
- ・地区ふれあい広場助成(23地区)(年末募金配分事業) 2,070,000円

2. 地区社協活動支援事業

地域の福祉活動を推進するため、地区社協スタッフを対象に研修会を実施した。

開催日 7月14日(金) 21(金) 28(金)

参加者 延136人

研修内容と講師

- ・平塚市社会福祉協議会の業務内容 仕事について講義形式で実施した。
- ・全研修内容の講師は市社協職員が務めた。
- ・市内地域包括支援センター（市内8箇所）の職員を招き、地区社協の参加者との交流会を開催した。

4. 部会活動推進事業

社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成して円滑化を図った。

5部会 合計 400,000円

- ・地区社協部会 40,000円
- ・自治会部会 18,000円
- ・民生委員部会 54,000円
- ・保護司部会 27,000円
- ・福祉施設部会 261,000円

（内訳 部会運営費 81,000円 施設職員研修費補助 180,000円）

5. 団体育成事業

1. 平塚市民生委員児童委員協議会 2,723,000円
住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を助長する目的で助成を行った。
 - ・実態把握活動費（年末募金配分事業） 1,550,000円
 - ・点検活動費・民協活動費 1,173,000円
2. 平塚市自治会連絡協議会（年末募金配分事業）
共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成した。 350,000円
3. その他福祉関係団体へ活動費の助成を行った。（年末募金配分事業）
 - 高齢者福祉 老人クラブ連合会事業費補助 90,000円
 - 母子福祉 母子福祉なでしこ会事業費補助 45,000円
 - 心身障害児者福祉 身障団体等事業費補助 13団体 468,000円

6. 地域作業所補助事業

1. 地域作業所育成（社会福祉基金事業）	1,500,000円
・自動車購入費助成 地域作業所サチラス	800,000円
・施設修繕改修費助成 地域作業所スマイル	700,000円
2. 地域作業所等事業運営助成（年末募金配分事業）	4,090,000円
・地域作業所の事業運営に対して配分	
1か所あたり 140,000円 25作業所	3,500,000円
・障害者生活ホームの事業運営等に配分	
1か所あたり 90,000円 6か所	540,000円
・障害児デイサービス事業運営に配分	
1か所あたり 50,000円 1か所	50,000円

7. 子育て支援育成事業

1. 平塚市内で子育て支援を行っているグループ、またこれから行おうとするグループに対し、会の定着に必要な物品購入及び地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。

・21団体（赤い羽根募金配分事業）	660,000円
内 訳 1ヶ月の子どもの参加延べ人数	
50人未満（1団体20,000円）	21団体
備品等購入（1団体20,000円以内）	13団体

2. 子育て団体支援事業

(1) 子育て支援団体情報交換会

開催日：平成18年9月28日(木)

会場：平塚市勤労会館

参加者：29人

(2) 子育て支援研修会

開催日：平成19年2月27日(火)

会場：平塚市勤労会館

講演：芸術教育研究所 所長 多田千尋 氏

「みんなで子育て、街育て！」

赤ちゃんから高齢者までの生き生き支援 -

参加者：121人

(3) 育児サークル一覧表配布、4,000部

(4) 「ふたごみつご達のひろば」

開催日：毎月第4土曜日（都合で第3土曜日3回）年12回

会場：平塚市福祉会館 集会室

参加者：68組 234人（大人92人・子ども142人）

ボランティア 89人 合計323人

8. 地域特別事業

地域社会福祉活動をより一層強化、発展をはかるため、地域や団体で実施する特別な社会福祉事業に要した事業費の一部を補助するものだが、今年度の実績はなかった。

4. ボランティア活動推進事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

1. ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会

6月23日 ボランティアセンターの事業報告及び決算について

3月27日 ボランティアセンターの事業計画及び予算について

2. ボランティアの相談斡旋

- ・ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアニーズ調整を行った。

相談日数 245日

相談時間 8:30～17:00

相談件数 780件

派遣延人数 1,353人

- ・ボランティア登録件数

個人148人 団体89グループ 3,175人 合計 3,323人

3. 調査・研究事業

ボランティアの実態調査

- ・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査（個人）
- ・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査（団体、グループ）
- ・市町村社協ボランティアセンター活動実態調査
- ・市民活動グループの把握について
- ・精神保健関連講座等の実施状況
- ・生涯学習ボランティア（人材）バンク並びに青少年ボランティア活動における実態アンケート
- ・市民活動グループ 団体動向調査
- ・ボランティア 市民活動支援機関調査

4. 広報啓発事業

- ・「ボランティア情報」を購入しボランティアリーダー、地区社協、地区民協及び小・中・高校・専門学校へ配布した。 年12回
- ・夏秋ボランティア活動ガイドの作成・配布 1,500冊
- ・冬春ボランティア活動ガイドの作成・配布 600冊
- ・FM湘南ナパサへ情報提供
- ・24時間FAX情報への協力 年12回 受信数 17回

- ・ボランティアセンター廊下の掲示板活用
- ・ボランティアセンター内掲示板で報告書情報誌などの閲覧
- ・ビデオライブラリーの整備 保有数95巻(内DVD2巻)
- ・ボランティア活動相談基礎知識(新中学生へ) 63冊配布

5. ボランティア育成及び活動の推進事業

(1) 夜間ボランティアスクール

一般市民を対象に、夕方(午後6時30分以降)の時間に社会福祉とボランティア活動の啓発を目的に開催した。

開催日 6月1日(木)～6月15日(木) 全5回

時間 午後6時30分～8時30分

手話体験(講話・体験) 点字体験(講話・体験)
 視覚障害者誘導法(講話・体験) 知的障害者の理解(講話)
 車椅子操作法(講話・体験)・ボランティア活動とは(講話)

受講生 29人 参加者 延57人

(2) 高齢者給食ボランティア研修会

栄養と食品衛生について学び、地区社協での献立を調理実習した。また、先進地区の事例報告をし、地域での今後の事業を検討した。

開催日 8月31日(木) 参加者 24人

講師 平塚市健康福祉部健康課 伊藤管理栄養士

調理指導 城島地区社会福祉協議会(老人給食ボランティア なつめ会)

(3) 平日ボランティアスクール

ボランティア活動を始めようとしている人・初心者の人・興味がある人を対象に社会福祉意識の啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的とし実施した。

開催日 9月19日(火)～10月17日(火) 全5回

時間 午後1時30分～午後3時30分

手話体験(講話・体験) 点字体験(講話・体験)
 視覚障害者誘導法(講話・体験) 知的障害者の理解(講話)
 車椅子操作法(講話・体験)・ボランティア活動とは(講話)

受講生 29人 参加者 延85人

(4) 土曜スクール

学校などの土曜日の休みや勤労者の週休2日を利用して、学生から勤労者等、幅広い層を対象に、体験学習を中心とした講座を開催した。

開催日 1月20日(土)～2月17日(土) 全5回

時間 午前10時～12時

手話体験(講話・体験) 点字体験(講話・体験)
 視覚障害者誘導法(講話・体験) 知的障害者の理解(講話)
 車椅子操作法(講話・体験)・被災地での体験(講話)・
 ボランティア活動とは(講話)

受講生 22人 参加者 延78人

(5) 精神保健福祉ボランティア講座

精神障害者に対する病気や障害について理解と基礎的なことを学ぶ。

開催日 11月28日(火)～2月20日(火) 全6日

受講生 21人 参加者 延103人

- (6) ボランティアグループ活動助成(社会福祉基金事業)
59グループ 助成額 2,410,000円
- (7) 平塚ボランティア連絡会へ助成(社会福祉基金事業)
助成額 180,000円
- (8) 専門ボランティア養成研修会(社会福祉基金事業)
点訳、音訳、手話、誘導法、要約筆記 助成額 300,000円
- (9) 実習、研修事業などへ協力
学校、企業などにボランティア活動や体験学習の講師として協力した。
- (10) 平塚おもちゃ図書館
障害児と家族、ボランティアの交流の場として開館した。
開館日数 49日
利用者 84世帯 252人

6. ボランティア啓発育成(社会福祉基金事業)
小中高等学校福祉活動助成(小学校12・中学校14・高等学校4 計30校)
助成額 843,000円

7. 録音・点字図書等の貸出し事業
視覚障害者の教養娯楽に供するため、各種録音テープ点字図書の貸出しをした。

- ・受入数
点字図書 25タイトル 102冊
- ・保有数
録音図書 1,792タイトル 17,144巻
点字図書 277タイトル 1,079冊
- ・貸出し状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出し巻数
録音 テープ	定期刊行物	714	714 (内訳 広報533、議会181)
	図 書	105	1,010
	合 計	819	1,724
点字図書	定期刊行物	156	156
	図 書	209	884
	合 計	365	1040

8. 車椅子の貸出し
保有台数 85台
延貸出件数 193件
延貸出日数 4,254日

9. 善意の寄託品

	寄託物品	寄託者	件数	配分先
1	紙オムツ26枚	個人	1	平塚市民病院
2	タオル、手ぬぐい	個人	1	平塚栗原ホーム
3	図書券1,500円分×18人分	湘南リビング新聞社	18	高校生以下の交通遺児に配付
4	車椅子(新品1台)	マックスバリュ東海(株) 平塚四之宮店	1	社協(貸出用)
5	タオル10枚、うちわ50本	個人	1	福祉会館利用者へ配布
6	麻雀6セット(牌、板)	個人	1	福祉会館3階
7	囲碁1セット(碁石、碁盤)	個人	1	福祉会館3階
8	車椅子1台(介護用、アルミ製)	個人	1	市社協(貸出用)
9	神奈中乗車券10枚綴り	個人	2	ボランティアセンター
10	車椅子1台	個人	1	市社協(貸出用)
11	一人用藤椅子(背もたれ、肘付)	個人	1	白寿荘
12	洋服、ぬいぐるみ、おもちゃなど多数	個人	1	福祉会館、子育て支援センター
13	お米2kg80箱	大山阿夫利神社	1	市内生活ホーム
14	プロレスチケット10枚	(株)根布工業	1	地域作業所連絡会
15	プロレスチケット152枚	株式会社 創	1	地域作業所連絡会

5. 当事者援護事業

1. 生活保護・要保護者援護事業

(1) 要援護世帯等の慰問

生計困難世帯、在宅重度の身体・知的・精神障害児者、原爆被災者の方に市受託金による慰問金を贈った。

	夏 期		年 末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
生計困難世帯	597件	3,907,000円	609件	4,662,000円 (年末募金配分事業)
在宅重度の身体 ・知的・精神障 害児者			2,156件	4,312,000円
原爆被災者	67件	335,000円		
合 計	664件	4,242,000円	2,765件	8,974,000円

(2) 小・中学校入学祝金及び入学準備補助

生計困難世帯の小・中学校入学児童へ祝金と学生服の購入補助をした。

生計困難世帯(社会福祉基金事業)

	祝金	被服購入費助成	
小学校入学	(10,000円 + 10,000円) × 34人 =		680,000円
中学校入学(男)	(10,000円 + 20,000円) × 27人 =		810,000円
〃(女)	(10,000円 + 25,000円) × 33人 =		1,155,000円
計		94人	2,645,000円

(3) 修学旅行支度費

生計困難世帯の児童で、小学6年生と中学3年生の修学旅行支度費の一部を次のとおり交付した。

・生計困難世帯(年末募金配分事業)

5,000円×51人= 255,000円(小学校6年生)

10,000円×83人= 830,000円(中学校3年生)

計 134人 1,085,000円

2. 緊急援護事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

・旅費困窮者救護金(289件×300円) 86,700円

・行旅病人等旅費、食事代(7件) 8,500円

・休日、年末年始対応(市役所及び市民病院)バス回数券購入 13,000円

・行旅病人等被服の購入 6,250円

合計 114,450円

3. 高齢者福祉事業

(1) 寝たきり高齢者等慰問事業

在宅の寝たきり高齢者(要介護度4・5)等、対象者となる方に尿とりパッド贈呈
年2回 8月 308人 2月 284人 計592人 421,444円

(2) 福祉電話料助成

ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成 延べ49人(親機含む) 987,864円

4. 障害児者福祉事業

(1) 障害児と保護者の慰安激励(ディズニーランドへバス4台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 52世帯 169人 1,137,320円(参加者負担金429,000円)

(2) 点字図書購入費助成(社会福祉基金事業)

1・2級視覚障害者に点字図書購入費の一部を助成 9件 90,000円

5. 児童福祉、母子・父子福祉事業世帯健全育成

(1) 母子・父子世帯健全育成

母子・父子世帯の交流と慰安激励(ディズニーランドへバス2台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 31世帯 85人 532,250円(参加者負担金291,000円)

(2) 青少年健全育成(年末募金配分事業)

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

(3) 地域交流事業助成(社会福祉基金事業)

公立保育園10園 200,000円

6. 災害見舞金支給事業

災害援護活動 90,000円(赤い羽根募金配分事業・たすけあい福祉資金配分金)

全焼(損) 20,000円×2件 半焼(損) 10,000円×3件 水損 0件

死亡 20,000円×1件

7. 遺児援護事業

(1) 交通遺児激励金

区分及び単価		支給時期	件数	支給合計(円)
県社協分	激励金 50,000円	小学校入学	1	50,000
		中学校入学	2	100,000
		中学校卒業時	1	50,000
		高校卒業時	3	150,000
	見舞金 100,000円	交通遺児発生時	0	0
小計			7	350,000
市社協分 (遺児基金事業)	激励金 15,000円	18歳以下の対象者 へ年1回	18	270,000

(2) 一般遺児激励金(年末募金配分事業)

18歳以下の遺児に激励金(1人10,000円)を配付	85世帯 児童数126人	1,260,000
----------------------------	-----------------	-----------

8. 在住外国人支援

在住外国人生活支援実践活動への支援(年末募金配分事業)

日本語教室、子ども教室、生活相談の3部門構成にて、横内団地集会所における活動の支援を行った。横内プロジェクトへ事業費補助 200,000円

9. 家族介護者支援

家族介護者交流事業(家族介護者リフレッシュ事業)を実施した。

・平成19年3月16日 フラワーアレンジメント

「プリザーブドフラワー」と交流会 27人

6. 貸付事業

1. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活安定を図るため、申請を受付け次のとおり取扱った。

(1) 取扱い内容

種 類	件 数	貸 付 金 額 (円)
修学資金	4	2,108,000
福祉資金	10	6,666,000
療養介護資金	3	1,510,000
計	17	10,284,000

(2) 離職者支援資金

平成14年度より、国の施策として、雇用の安定と新産業創出を目指した「総合雇用対策（産業構造改革・雇用対策本部）」により総合雇用対策の中のセーフティネット整備の一つとして、雇用保険制度の枠外にいる自営業者やパート労働者の失業や雇用保険の求職者給付期間の切れたことにより生計の維持が困難になった世帯に対して、生活資金を貸付ける「離職者支援資金」が創設されたが、今年度は申請がなかった。

2. 一時貸付

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

平成18年度貸付金額 40件 1,332,000円

平成18年度中償還額（昭和58年度～平成18年度貸付分）延べ207件(内完納38件)
金 額 1,360,000円

平成18年度未償還状況（平成18年度貸付分を含む）

	件 数	金 額 (円)
貸付金額累計	817	30,863,200
償還済額累計	612	24,802,200
欠損処分量累計	73	1,910,000
(うち18年度欠損処分量)	(0)	(0)
貸付残額	132	4,151,000

7. 生活支援事業

地域においてさまざまな人々がさまざまな悩みをかかえて生活している。その生活福祉ニーズを解決するために、関係機関や社会資源を有機的に連携させながら、相談活動体制をはかるとともに、地域で発生した生活課題に対しても、地域に即した創意と工夫を行いながら支援を実施した。

相談事業

生活支援相談（月曜日～金曜日） 相談件数合計 95件

内 訳

- ・暮らし住まい 91件
- ・保健医療 2件
- ・福祉教育 2件

法律相談

弁護士による相談を実施した。

年11回 相談件数41件

8. 地域福祉権利擁護事業（ひらつかあんしんセンター）

福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある障害者や高齢者等の生活を安定させることを目的に事業を実施した。

1. 相談援助活動

・問い合わせ、初回相談件数	72件
高齢者(虚弱、認知症等)	40件
障害者	26件
内 訳	
身体障害	1件
知的障害	17件
精神障害	8件
その他(不明)	6件
・相談援助活動	2,033件
(他機関との調整含む)	
高齢者(虚弱、認知症等)	1,037件
障害者	996件
内 訳	
身体障害	139件
知的障害	604件
精神障害	253件

2. 契約件数

契約件数 79件（新規契約23件、継続73件、解約17件）

内 訳	福祉サービス利用援助・ 日常的金銭管理	書類等 預かり	契約実数
高齢者(虚弱、 認知症等)	45	7	49(3)
身体障害者	5	1	5(1)
知的障害者	10	6	14(2)
精神障害者	9	4	11(2)
そ の 他	-	-	-
合 計	69	18	79(8)

件数は個人を単位としている。

()は、福祉サービス利用援助サービス及び日常的金銭管理サービスを利用している者のうち、書類等預かりサービスも併せて利用している者を示す。

高齢者、障害者の区分は、契約時のものによる。

3. 訪問活動

- ・専門員等の訪問調査活動 延べ 483回
(生活支援員の定期報告分含む)
- ・生活支援員の訪問及び活動 延べ 1,567回
(専門員代行分含む)

4. 地域福祉権利擁護事業審査会

- ・開催回数 8回
- ・審査内容(単位:件)

対象者		項 目					合計
		認知症 高齢者等	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	その他 ・不明	
審査 内容	審査(契約・解約 ・支援計画等)	31	4	6	3	0	44
	相談・助言	4	5	0	2	0	11
	その他	1	1	0	0	0	2
審査合計		36	10	6	5	0	57

9. 地域包括支援センター事業(ゆりのき)

在宅の高齢者の心身の特性を踏まえて、可能な限り居宅において、自立した日常生活を営めるよう配慮し、高齢者の選択に基づいた自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に提供することを目的とする。

サービスの提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組みを行う者等との連携に努め、富士見・崇善・松原地区を担当地区として以下の事業を展開した。

1. 地域包括支援センターゆりのきの事業実績

- ・相談対象者実数 528件
- ・相談延べ件数 651件
- ・相談方法
 - 来所 37件 電話 342件 訪問 73件 その他 76件
- ・新規相談者の把握経路
 - 本人 31件 家族・親戚 79件 民生委員 35件
 - 市役所 148件 ケアマネジャー 209件 その他 26件
- ・対象者の状況
 - 要支援 225件 要介護 62件 非該当 7件
 - その他 234件
- ・相談内容（新規相談者の内訳）
 - 介護保険 314件 特定高齢者サービス 131件
 - 高齢者保健福祉サービス 24件 その他 82件
- ・対応内容
 - 継続中 241件 終了 287件
- ・各種サービスの申請内訳
 - 介護保険関係 111件 高齢保健福祉サービス 14件
- ・予防プラン内訳
 - 特定高齢者 12件
 - 新予防給付 903件（うち委託 147件）
 - 給付管理 886件（うち委託 143件）
- ・居宅介護支援専門員への支援 49件
- ・認定調査 85件
- ・地域包括支援センター開催会議実施状況
 - 開催日数 269日 参加人数 延べ437人

10. 子育て支援事業

1. 子育て支援センター

地域の子育て家庭に対する育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロンの運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域の保育ニーズに応じて地域の子育て支援関連機関との連携を図ること等を行い、地域の子育て家庭への支援を図るため、子育て支援センターを設置し、地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより、育児支援を図った。

- ・実施施設
 - 豊田分庁舎（子育て支援センター）、須賀保育園（センター分室）
- ・開設日 245日（豊田195日、須賀50日）
- ・利用状況
 - 利用総数 24,803人（豊田23,066人、須賀1,737人）
 - 来所者 24,040人（豊田22,357人、須賀1,683人）
 - 相談実数 4,575人（豊田 4,094人、須賀 481人）
 - 相談延件数 4,594件（豊田 4,029件、須賀 565件）

* 相談者は来所者と重複する場合がある

相談内容	子どもに関する相談	2,763件		
	身体	1,013件	精神情緒	450件
			生活	1,300件
	親に関する相談	1,828件		
	子との関係接し方	1,049件	夫との関係	125件
	家族関係	117件	母親の疾患	53件
	母親の仕事	90件	社会参加	19件
	近隣地域知人	57件	グループ活動	30件
	その他	288件		
視察等の受入れ	340人(豊田	340人、須賀	0人)	

・活動内容

- ・出向、訪問等での相談 83件
- ・相談以外の補完的援助 440件
- ・関係機関との連携・協力等 38件
- ・グループ支援 25件
- ・会議、研修、視察等の参加 33件
- ・おしゃべり会 7回
- ・スペシャルジョイフルタイム 12回

2. ファミリー・サポート・センター

地域において育児の援助を受けたい方と行いたい方を組織化し、相互の援助活動を行うことにより、安心とゆとりをもって子育てができる環境をつくる。平成15年7月1日より活動を開始した。

- ・実施施設 豊田分庁舎
- ・開設日 245日
- ・会員数

	平成18年度	累計
延べ会員数	119人	483人
支援会員	20人	168人
依頼会員	100人	334人
兼ねている会員	1人	19人

活動実績

- ・問合せ件数 1,944件
- ・事前、顔合せ件数 171件
- ・活動実績 1,388件(113件) 3,087時間8分(395時間6分)
()は休日対応

活動内容

- ・保育所、幼稚園登園前の預かり及び送り 170件
- ・保育所、幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 271件
- ・保育所・学校等休み時の援助 84件

・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	155件
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	86件
・保護者等の外出援助	115件
・子どもの習い事等の援助	66件
・その他	441件

研修会等

支援会員講習会

第1回	5月15日	17人
	5月16日	18人
	5月22日	12人
	5月23日	8人
第2回	10月19日	17人
	10月20日	23人
	10月23日	12人
	10月24日	16人

支援会員フォローアップ研修会 「絵本の読み聞かせを学ぼう！」
1月30日 9人

会員交流会 「簡単ピザ作り・牛乳パックで小物入れ作り」
11月11日 福祉会館 12人

会員交流会・実行委員会 参加者延べ25人
6月 1日 豊田分庁舎
7月 6日 豊田分庁舎
9月 7日 豊田分庁舎
10月 5日 豊田分庁舎
11月 2日 豊田分庁舎
11月28日 豊田分庁舎

会員懇談会>

2月13日 豊田分庁舎 7人
3月13日 豊田分庁舎 2人

1 1 . 施設管理受託事業

1 . 管理運営事業

(1) 平塚市福祉会館、東部福祉会館白寿荘、南部福祉会館、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営について指定管理者制度における指定を受けた。

平塚市福祉会館での総合福祉センターとしての業務と東部福祉会館白寿荘、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの福祉業務など高齢者及び心身障害者等の福祉の増進と生活向上を図り、南部福祉会館は、老人福祉センターと機能回復訓練用温水プールを備えた施設として、高齢者及び障害者等の福祉並びに健康保持・増進に寄与するために次の事業を行った。

ア．老人福祉センター等の利用状況（利用延べ人数）

	個人利用		団体利用			合 計
	大広間	機能回復 訓練室及 び教養室	団体数	人 数	日 曜	
福祉会館 老人福祉センター	39,501	26,807	224	8,145	431	74,884
白寿荘 老人福祉センター	15,770	2,129	197	5,499	-	23,398
南部福祉会館 老人福祉センター	37,920	-	101	2,280	-	40,200
老人憩いの家 七国荘	284	-	135	4,155	-	4,439
合 計	93,475	28,936	657	20,079	431	142,921

イ．福祉会館会議室等の利用状況

高齢者・障害者・福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため母子・家庭児童・生活支援、各種相談の場を提供した。

会議室等の利用状況（延べ人数）

第一会議室	9,040	身障判定室	545
第二会議室	13,480	料理講習室	1,191
第三会議室	8,042	家庭児童（A）相談室	7,077
集会室	3,477	母子（B）相談室	1,389
奉仕活動室	3,461	生活支援（C）相談室	95
身障いこい室	2,556	ボランティアセンター	780
合 計			51,133

ウ．障害者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

福祉会館奉仕室等の利用状況（延べ人数）

点訳奉仕室	1,706	録音奉仕室	750
図書室	364	ボランティアセンター活動室	248
合 計			3,068

エ．南部福祉会館会議室等の利用状況（延べ人数）

- ・会議室 144団体 3,108人
- ・ボランティア活動室 282団体 4,080人
- ・教養娯楽室 4,417人(老人福祉センター-利用者と重複する)

オ．南部福祉会館機能回復訓練用温水プールの利用状況

- ・登録累計 (個人) 3,097人 (団体) 13団体
- ・利 用 おみずではつつ水浴訓練 1回 13日 132人
- 健康づくり教室 3回 24日 446人
- シルバー教室 6回 48日 1,005人
- 個 人 24,303人
- 団 体 7団体 665人 合計 26,551人

カ．健康相談（老人福祉センター利用時に血圧測定等を実施）

- ・福祉会館 4,273人
- ・南部福祉会館 1,761人
- ・東部福祉会館白寿荘 3,900人

キ．在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営

平塚市から指定管理者制度の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

貸館について

- ・大会議室 25回 利用人員 1,227人
- ・小会議室 57回 利用人数 224人

（主な利用団体 平塚市生きがい事業団、平塚ろう学校等）

（２）高齢者・障害者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障害者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者趣味の講座・高齢者保健講座・身障者趣味の講座を開催し、11月に「福祉まつり」を行いその成果を発表した。

ア．講座開催状況

高齢者趣味の講座

講座名	定員	回数	受講者数	延べ受講人数
初心者の為のパソコン教室	40	40	40	361
太極拳	20	8	31	146
高齢者の為のソフトエアロビ （白寿荘）	20	7	44	165
愛宕山公園散策と絵手紙教室 （七国荘）	20	4	11	33
太極拳（老人センター）		11		201
合計	100	70	126	906

身体障害者趣味の講座

ハーモニカ教室（視覚）	10	8	8	49
ヨガ教室（聴覚）	10	8	6	30
合計	20	16	14	79

南部福祉会館趣味の講座

気功養成術	20	6	27	123
詩吟	20	10	20	154
太極拳（老人センター）		12		205
合計	40	28	47	482

総 合 計	160	114	187	1,467
-------	-----	-----	-----	-------

イ．福祉まつり（２．広報啓発事業に掲載）

開催日 11月16日（木）～18日（土）

会場 福祉会館、中央公民館（ギャラリー、大ホール）

ウ．視察・見学の受け入れ

福祉会館

・団体 2団体 46人

（看護学校・浜岳中学校等）

南部福祉会館

・団体 3団体 22人

（市内外の社協・民児協・ボランティア団体・自治体・学校等）

・個人 223人

合計 245人

2．福祉電話の連絡業務

福祉電話の基地として、ひとり暮らしの高齢者のために1日1回電話で連絡を行い、安否の確認をした。

対象者 51人 延べ6,415回 月平均 535回

1.2．在宅福祉サービス事業

1．介護保険事業

介護保険による次の事業を実施した。

（1）居宅介護支援事業

要介護高齢者（介護保険対象者）の居宅介護支援計画を実施した。

・相談、調査件数

電話相談 3,953件 来所相談 68件

ケアプラン作成訪問 2,157件 申請代行訪問 139件

その他訪問 133件

・ケアプラン作成件数 年間 延べ 1,885件

内 訳

経過的介護度	116件	要介護1	643件
要介護2	543件	要介護3	304件
要介護4	192件	要介護5	87件

（2）訪問介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者及び予防介護対象者）の居宅介護支援計画に基づいて訪問介護（ホームヘルパーの派遣）事業を実施した。

・相談、調査件数

電話相談 707件 訪問調査 439件

・利用者数 150人

（内訳 訪問介護 111人・介護予防訪問介護 39人）

内 訳

要支援1	25人	要介護2	28人
要支援2	14人	要介護3	11人
要経過的要介護	14人	要介護4	8人
要介護1	45人	要介護5	5人

- ・派遣回数 9,632回
 - 内 訳 ・身体介護 1,380回 ・生活援助 3,959回
 - ・介護予防 1,127回 ・身体生活 3,166回
- ・派遣時間 13,145 時間
 - 内 訳 ・身体介護 1,250 時間 ・生活援助 5,330.5 時間
 - ・介護予防 1,405 時間 ・身体生活 5,159.5 時間
- ・訪問介護同行研修の受入れ
 - 研 修 (受入日数 延べ44日 受入人数 延べ107人)
 - 総合健康推進財団 10人
 - 平塚ろう学校 93人
 - NPO法人 ニッポン・アクティブライフクラブ 1人
 - 神奈川社会福祉専門学校 3人

(3) 通所介護事業

要介護高齢者(介護保険対象者)の居宅介護支援計画に基づいて通所介護(デイサービス)事業を実施した。

- ア.利用者数 106人
 - (内訳 通所介護 89人・介護予防通所介護 17人)

内 訳

要支援1	6人	要介護2	21人
要支援2	11人	要介護3	20人
要経過的要介護	4人	要介護4	12人
要介護1	28人	要介護5	4人

利用回数 延べ 4,612回(内訳 通所介護4,520回 介護予防通所介護92回)

イ. 年間行事

毎月の誕生会と季節にあった行事を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	10月	運動会
5月	お花見(ポピー見学)	11月	南原保育園との交流会、家族会
6月	七夕作品づくり	12月	クリスマス会
7月	七夕見物	1月	どんど焼き
8月	夏まつり	2月	豆まき、南原保育園との交流会
9月	敬老週間	3月	ひなまつりコンサート

ウ. 研修及びボランティアの受入れ

- ・研 修 (職場体験及び実習)
 - (受入日数 延べ29日 受入人数 延べ172人)
 - 中学校 (江陽中、春日野中、大住中、中原中)
 - 小学校 (崇善小)
 - 高等学校 (高浜高、大原高)
 - 専門学校 (神奈川社会福祉専門学校)
 - 大学 (東京福祉大学、東海大、聖徳大)
 - 平塚ろう学校
 - 子供教育センター
- ・ボランティアの受入れ(日数 延べ318日 人数 延べ492人)
 - 学生及び一般の方 (江陽中、春日野中、神明中)
 - 崇善地区社協

演芸等（アコーディオン、フラダンス、ハーモニカ、大正琴、手品、
キーボード演奏等）

七夕ボランティア（崇善地区社協）2日間

・その他（受入日数 延べ18日 受入人数 延べ68人）

盲学校（あんま実習）8日間 48人

相談員 10日間 20人

2. 障害者自立支援居宅介護事業

障害者自立支援制度による次の事業を実施した。

・電話相談 1,136件 ・訪問調査 380件

（1）居宅介護事業

身体、知的、精神障害者（介護給付対象者）に対して居宅介護従事者（ホームヘルパー）の派遣を実施した。

・利用者数 57人（身障26人・重度身障2人・知的5人・障害児1人・精神23人）

・派遣回数 4,361回

内訳 ・身体介護 894回 ・家事援助 3,467回

・派遣時間 6,743.5時間

内訳 ・身体介護 1,145時間 ・家事援助 5,598.5時間

（2）重度訪問介護事業

重度身体障害者（介護給付対象者）に対して重度訪問介護従事者（ホームヘルパー）の派遣を実施した。

・利用者数 2人

・派遣回数（身体介護） 1,250回

・派遣時間（身体介護） 1,719.5時間

（3）平塚市地域生活支援事業の移動支援

身体、知的、精神障害者（介護給付対象者）に対して居宅介護従事者（ホームヘルパー）の派遣を実施した。

・利用者数 9人（内訳 身障3人・知的4人・精神2人）

・移動支援派遣回数 86回

内訳 ・身体介護有り 14回 ・身体介護なし 72回

・派遣時間 142時間

内訳 ・身体介護有り 22.5時間 ・身体介護なし 119.5時間

13. 市受託事業

1. 配食サービス事業

平塚市からひとり暮らし高齢者等配食サービス事業の受託により、家庭において炊事の支度をするのが困難なひとり暮らしのお年寄り等を対象に、夕食を各家庭まで配食するとともに安否の確認を実施した。

・配食数 延べ 6,009食

・登録者数 34人（男8人・女26人）

2. ホームヘルプサービス事業

平塚市からの受託により、介護保険において非該当（自立）と判定された方で日常生活を営むのに支障があり、生活支援が必要な高齢者に対して生活支援のホームヘルパーが伺い家事の援助を行った。また、活動に必要な、相談研修、連絡調整、及び事務手続等を行った。

・相談、調査件数

電話相談 91件 来所相談 38件 訪問調査 40件

ヘルパーの派遣に関する相談、訪問調査及び、他機関への連携、介護、健康についての相談援助を行った。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
生活管理 指導	8	1	7	236	236
合計	8	1	7	236	236

3. 心身障害者授産事業

心身障害者の自立更生を図るため簡易な作業による授産生業指導・郊外訓練を行った。

(1) 通所者 10人

(2) 作業日数及び延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
作業日数	20	20	22	20	20	20	21	20	19	18	19	21	240
作業延人数	188	176	202	174	175	186	193	182	172	163	170	188	2,169

(3) 作業内容

- ・ サックFRT折り（蛍光管カバーの加工）
- ・ コンピュータ操作のビニール手袋折り作業
- ・ 出張作業（会席膳の洗浄）
- ・ 自主製品（押し花）の製作

(4) 郊外訓練等

- ・ 馬の博物館 6月15日
- ・ 県立近代美術館 10月26日
- ・ 箱根神社・地球博物館 1月11日
- ・ イチゴ狩り 2月 2日/ 3月 2日
- ・ ソレイユの丘 3月16日
- ・ 映画鑑賞 8月24日/12月20日/ 2月21日
- ・ ねん土の花 6月23日/10月25日/11月 8日

(5) 保護者会 2回 5月19日/ 9月27日

14. 自主事業

市社協独自で行なうホームヘルパー事業を実施した。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
自主	1	0	1	6	12

・ホームヘルパー(3月31日現在) 30人

・研修会の開催

全体研修 3回 延べ 95人

・予防検査の実施

ホームヘルパー全員に対して、0-157の検便を12回延べ460人に実施した。

15. 基金管理事業

1. 社会福祉基金の造成

区分	昭和56年度～平成17年度		平成18年度		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市拠出金	8	400,000,000	-	0	8	400,000,000
民間寄託金	7,599	513,119,335	214	10,575,331	7,813	523,694,666
合計	7,607	913,119,335	214	10,575,331	7,821	923,694,666

合計値923,694,666円のうち60,033,310円は事業準備積立金

2. 交通遺児等福祉基金

区分	件数	寄附金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	18	991,993	55,032,881

3. 善意の寄附金

区分	件数	寄附金額(円)
児童福祉へ	14	36,650
高齢者福祉へ	2	55,000
その他	2	300,000
合計	18	391,650

16. 共同募金運動

1. 神奈川県共同募金会平塚市支会

市社協内に事務局をおき、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

(1) 常任委員会 委員 16人

開催日 平成18年8月18日(金)

- ・平成17年度平塚市支会会計決算の承認について
- ・平成17年度平塚市支会特別会計決算の承認について
- ・平成18年度平塚市支会会計予算(案)について
- ・平成18年度平塚市支会特別会計予算(案)について
- ・平成18年度共同募金(赤い羽根)運動実施方針(案)について
- ・平成18年度年末たすけあい募金運動実施方針(案)について

(2) 支会委員会 委員 55人

開催日 平成18年8月22日(火)

- ・平成17年度平塚市支会会計決算の報告について
- ・平成17年度平塚市支会特別会計決算の報告について
- ・平成18年度平塚市支会会計予算の報告について
- ・平成18年度平塚市支会特別会計予算の報告について
- ・平成18年度共同募金(赤い羽根)運動実施について
- ・平成18年度年末たすけあい募金運動について

(3) 支会監事会 委員 3人

開催日 平成18年5月16日(火)

- ・平成17年度平塚市支会会計決算について
- ・平成17年度平塚市支会特別会計決算について

(4) 募金額

募 金 名	目 標 額(円)	実 績 額(円)	達 成 率
赤い羽根募金	21,440,000	22,187,155	103%
年末たすけあい募金	18,360,000	19,396,830	106%
計	39,800,000	41,583,985	105%

(5) 平成18年度地区別赤い羽根・年末たすけあい募金運動結果表(単位円)

地 区 名	世帯数	赤い羽根実績額	年末実績額	実績合計
富 士 見	4,472	1,168,118	1,189,291	2,357,409
	5,448	971,080	959,970	1,931,050
松 港 原	2,152	505,000	516,080	1,021,080
	4,566	1,159,984	1,162,291	2,322,275
花 な 水 こ	5,905	1,268,268	1,337,040	2,605,308
	2,281	608,091	617,100	1,225,191
八 幡 土	2,375	535,490	556,890	1,092,380
	2,829	638,580	646,635	1,285,215
四 之	3,309	810,634	833,798	1,644,432
	4,269	1,141,415	1,155,095	2,296,510
南 松 原 丘	1,732	458,010	421,119	879,129
	2,567	618,291	607,762	1,226,053
豊 田 田 村	1,658	449,141	409,640	858,781
	3,651	904,404	933,870	1,838,274
大 横 神 内	1,470	437,960	441,214	879,174
	3,239	668,271	682,650	1,350,921
岡 金 土 旭	1,452	348,450	344,100	692,550
	2,968	783,300	698,700	1,482,000
金 土 旭	3,146	828,420	825,390	1,653,810
	1,648	420,800	399,274	820,074
旭 金 土	6,095	1,431,075	1,452,145	2,883,220
	6,607	1,639,705	1,580,875	3,220,580
そ の 他	4,389	1,259,150	1,254,303	2,513,453
		3,133,518	371,598	3,505,116
計	78,228	22,187,155	19,396,830	41,583,985

(6) 福祉作文コンクール

応募総数 211 篇 (内訳 小学生 22 校 58 篇 中学生 14 校 153 篇)

代表作品の中から次の作品が入選した。

・優秀賞 神奈川県教育長賞

「兄の病気と僕」 平塚市立金目中学校 1 年 星 隆也

・準優秀賞

「小さなおばあちゃん」 平塚市立みずほ小学校 5 年 恩田 康平

・佳作

「僕と祖父母」 平塚市立金田小学校 6 年 角田 甫

(7) 災害義援金

災害等で義援金が必要になった場合、福祉会館、南部福祉会館、白寿荘、七国荘、平塚栗原ホーム、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの各窓口に募金箱を設置。その他、個人や団体からお預かりした義援金を併せ、共同募金会を通し、被災地へ送金した。

以下のとおり送金した。

・豪雨災害義援金

長野県・鹿児島県・宮崎県へ 37,623 円 (各県へ 12,541 円)

・台風 13 号被害義援金

宮崎県へ 33,560 円

・竜巻災害たすけあい義援金

北海道へ 9,621 円

17. ひらつか地域介護システム会議の運営

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として実施した。

(1) ひらつか地域介護システム会議

・総会	1 回	・幹事会	2 回
・介護情報推進部会	0 回	・サービス適正化推進委員会	0 回
・サービス向上検討部会	5 回	・監事会	1 回

(2) 事業別連絡会

・居宅介護支援連絡会	6 回	・訪問介護連絡会	6 回
・訪問入浴連絡会	5 回	・訪問看護連絡会	7 回
・通所サービス連絡会	6 回	・介護保険施設連絡会	6 回
・福祉用具・住宅改修連絡会	3 回	・グループホーム連絡会	6 回

(3) ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

・居宅介護支援連絡会	「障害者自立支援法」	1 回
	「アセスメント技法とケアプラン作成の手法」	1 回
・訪問介護連絡会	「介護実技研修」	1 回
・訪問入浴連絡会	「分野別情報交歓会・ナース」	1 回
	「分野別情報交歓会・ヘルパー」	1 回

・訪問看護連絡会	「分野別情報交歓会・オペレーター」	1回
	「腎不全に関する講演会」	1回
・通所サービス連絡会	「アロマセラピー、足浴とハンドマッサージ」	1回
	「口腔ケア」	1回
	「対人援助」	2回
・介護保険施設連絡会	「音楽療法」	1回
	「シーティング講習会」	1回
	「生活機能障害としての座位の問題解決」	1回
・福祉用具・住宅改修連絡会	「介護保険改正と福祉用具」	1回
・グループホーム連絡会	「救急法（ケガ、急病等の応急手当）」	1回
	「わかりやすい記録の書き方」	1回
	「グループホームでよくある事例について」	2回
	「介護スタッフのリフレッシュ体操・レクリエーション等」	1回
	「総合防災センターの見学」	1回
	「管理者研修」	1回
	「相互訪問研修」	1回

(4) 医師会との交流会

日時	平成19年3月29日(木)
参加者	180名 関係者20名
テーマ	サービス担当者会議を有意義に持つために
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制度説明 ・模擬サービス担当者会議 ・アンケート調査の結果と考察 ・質疑応答

(5) ホームページひらつか介護情報ネットワーク(愛称ひらのすけ)の運営

<http://www.hiranosuke.or.jp>

参考資料

1. 社会福祉基金事業一覧表

平成18年度 平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

事業名	事業内容	予算額	決算額	差引	備考
1 地域福祉活動の条件整備及び推進に関する事業		7,802,000	7,531,679	270,321	
(1) 地区社協活動推進事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	2,333,000	2,330,000	3,000	23地区社協活動費補助等
(2) ひとり暮らし高齢者給食事業	会食を通じ、ひとり暮らし高齢者とボランティアとの交流	3,556,000	3,524,345	31,655	各地区社協実施
(3) 社会福祉啓発事業	福祉まつり開催経費	450,000	423,850	26,150	
	市立保育園地域交流	200,000	200,000	0	市立保育園地域交流(10保育園)
(4) 地区福祉相談事業	地区ふれあい福祉相談事業助成	633,000	632,040	960	地区社協で原則月1回第3月曜日実施
(5) ねたきり高齢者慰問事業	本人に尿取りパット(年2回配布)	630,000	421,444	208,556	1回目308人、2回目284人
2 ボランティアの育成及び活動の推進・支援に関する事業		4,107,000	3,953,208	153,792	
(1) ボランティア育成	一般市民ボランティア養成	267,000	189,286	77,714	土曜・平日・夜間ボランティアスクール、精神保健ボラ
	専門ボランティア養成	300,000	300,000	0	点訳講習会・音訳講習会・手話講習会・誘導講習会・要約筆記
	ボランティアリーダー養成	180,000	180,000	0	連絡会助成
(2) ボランティアグループ活動助成	点訳・音訳奉仕団事業助成	100,000	100,000	0	団体助成 @5,000×2
	ボランティアグループ活動費助成	2,310,000	2,310,000	0	59グループ助成
	テープライブラリー整備事業	50,000	30,922	19,078	
(3) ボランティア啓発育成	小中高等学校福祉活動助成	900,000	843,000	57,000	福祉校30校(小12/中14/高4)
3 各種援護の充実を図る事業		3,020,000	2,645,000	375,000	
(1) 低所得世帯援護	低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給(生計)	1,090,000	940,000	150,000	小中@10,000円×94人
	低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成(生計)	1,930,000	1,705,000	225,000	小男女@10,000円×34件=340,000円、中男@20,000円×27件=540,000円、中女@25,000円×33件=825,000円
4 その他福祉施策の充実を図るための活動経費及び助成事業		1,650,000	1,590,000	60,000	
(1) 地域作業所育成	自動車購入費	800,000	800,000	0	地域作業所サチラス
	施設改修費助成	700,000	700,000	0	地域作業所スマイル
(2) 点字図書購入費助成	視覚障害者(1~2級)の点字図書購入に対する助成	150,000	90,000	60,000	限度1人30,000円 9件
5 基金管理委員会が必要と認める事業		1,432,000	987,864	444,136	
(1) 福祉電話料助成	ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成	1,232,000	987,864	244,136	親機1台 加入者35人(延48人)
(2) その他の福祉事業	必要に感じ支出する経費	200,000	0	200,000	
合計		18,011,000	16,707,751	1,303,249	

2. 年末たすけあい配分事業一覧表

平成18年度配分結果

	区 分	件 数	金額(円)
要 援 護 世 帯 等	生計困難世帯に年末慰問金を配布	609世帯	4,662,000
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1名10,000円)を配布	児童数126人	1,260,000
	修学旅行支度費	134人(小学生51人/中学生83人)	1,085,000
	小 計		7,007,000
地 域 作 業 所 等	地域作業所の事業運営に対して配分 1か所あたり140,000円	25作業所	3,500,000
	障害者生活ホームの事業運営等に配分 1か所あたり 90,000円	6か所	540,000
	障害児デイサービスありんこくらの事業運営等に配分 1か所あたり 50,000円	1か所	50,000
	小 計		4,090,000
社 会 福 祉 団 体 等	地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費として配分 1地区あたり90,000円	23地区社協	2,070,000
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	1,550,000
	在住外国人支援事業 横内プロジェクトへ事業費として配分	1か所	200,000
	福祉団体補助金	17団体	1,133,000
	小 計		4,953,000
	事 務 費		674,954
	合 計		16,724,954